



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年12月18日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

池上彰の

聞いていいですか？



気候変動 高校生を動かす危機感

18日(日)=1、3面

猛暑や線状降水帯による豪雨、日本を何度も襲った台風——。これらの現象は地球温暖化の影響が指摘されています。気候変動を何とかしなければならぬと立ち上がる若者が増えています。名古屋大教育学部付属高

2年、足立心愛（ここあ）さん（17）＝写真＝もその一人。エジプトで11月に開かれた国連気候変動枠組み条約第27回締約国会議（COP27）に参加し、各国の若者らと連携して行動しました。足立さんは「気温上昇を

止めるにはタイムリミットがある」と危機感を強め、今は勉強よりも気候変動問題に関する活動を優先させています。池上彰さんとの対談では、環境問題の解決に向けた取り組みなどについて語り合いました。

特集ワイド 水谷豊さん、寺脇康文さんに聞く「相棒」

20日(火) = 夕刊特集ワイド

国民的人気の刑事ドラマ「相棒」に再び、注目が集まっています。主人公、杉下右京の初代相棒、亀山薫が14年ぶりに再登板しました。名コンビが復活したことで、ドラマは終わりに近づいているのでは

ないかと気をもむファンもいるそうです。なぜ、ドラマはこれほど愛されるのか。相棒を演じる水谷豊さん＝写真＝と寺脇康文さんに会いに行き、人気の秘密を探りました。



論点 サッカーW杯から見る日本

23日(金) II オピニオン

熱戦が展開されたサッカーのワールドカップ（W杯）カタール大会で、日本代表II写真IIは優勝経験のある強豪のドイツ、スペインを破る番狂わせを演じて世界を驚かせました。日本代表の戦いぶりを振り返りながら、ネット交流サービス（S

NS）で起きた寝めたり、けなしたりの「手のひら返し」現象なども論じます。論者は元サッカー日本女子代表で筑波大助教の安藤梢さん、国際ジャーナリストの千田善さん、国際基督教大上級准教授の有元健さんです。

宗教法人アンケート

19日(月)=1、3面

政府は、宗教法人法に基づく「質問権」を行使し、金銭トラブルで多数の被害者が出ている世界平和統一家庭連合（旧統一教会）を調査しています。裁判所に解散命令を請求す

ることも視野に入れています。一方、他の宗教法人には旧統一教会に対する批判の高まりが、宗教界全体への不審につながりかねないとの危惧もあるようです。

そこで毎日新聞は主要な宗教法人を対象にアンケートを実施し、旧統一教会に端を発した諸課題について尋ねました。結果からは宗教界の本音が浮かびました。

竹橋の窓辺から

編集後記

ロシアのウクライナ侵略、物価高、終わらないコロナ……。誰もが何かしらと戦う暮らしが日常風景となり、今年の漢字は「戦」が選ばれました。そんな今年のニュースを振り返り、来年を見通そうというオンラインイベントを毎日新聞社はTSRラジオ「荻上チキ・Session」とともに26日開きます。タイトルは「へ2022」揺らぐ世界」。特派員が現地できちんとした報告をいたします。ぜひご参加ください。（石原聖）



新毎日

150 2022年2月21日 毎日新聞創刊150年